

日本国際理解教育学会 第32回 研究大会

会場・名古屋学院大学しろとりキャンパス | 愛知県名古屋市熱田区
熱田西町1-25

2023.7.1 SAT → 7.2 SUN

※理事会は6月30日(金)開催

大会参加
事前申し込み締切 **6.16** FRI



大会参加事前申し込みは、
第32回大会専用HPよりご入力後、振り込みを
お願いします。
kokusairikai.com/conference/

参加費

事前申込 学生・院生 2,500円 / 一般 3,500円
当日 学生・院生 3,000円 / 一般 4,000円

情報
交換会

事前申込 学生・院生 3,000円 / 一般 4,000円
当日 学生・院生 3,500円 / 一般 4,500円

SPECIAL EVENT

参加費
無料

7.1^土の14:00~ / 公開シンポジウム

在外教育施設(日本人学校)における
「国際理解教育・現地理解教育」から考える今、この平和教育



シンポジウムは市民公開、参加無料です。
こちらのQRコードよりアクセス、参加申し込みをお願いします。
オープンキャンパスでは味わえない、大学の研究・教育機関としての側面を知ることができます。
高校生諸君、来たれ!

シンポジスト / 杉田洋氏(國學院大學教授、元・文部科学省特別活動教科調査官)
片桐里香氏(上海日本人学校虹橋校、新潟県派遣、原籍校:長岡市立希望が丘小学校)
沖本美佳氏(広島市立戸坂城山小学校、2018.4~2021.3ヤンゴン日本人学校(ミャンマー)派遣)
百々昌男氏(北名古屋市立師勝中学校、2019.4~2022.3カラチ日本人学校(パキスタン)派遣)

政策動向報告 / 北原龍之介氏(名古屋学院大学外国語学部4年生)
指定論者 / 見世千賀子会員(東京学芸大学)
コーディネータ / 天野幸輔会員(名古屋学院大学)

主催 日本国際理解教育学会

共催 名古屋学院大学 / 後援 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会(申請中)

7.1 SAT

会場／曙館

TIMETABLE

9:30	受付 (発表者は9:30より会場で動作確認等ができます。)
10:00	自由研究発表 — 各教室
12:00	休憩
13:00	総会
14:00	公開シンポジウム — 総会とも101教室
17:00	移動
17:30	情報交換会 — 食堂
19:00	

公開シンポジウム

在外教育施設(日本人学校)における「国際理解教育・現地理解教育」から考える今、この平和教育

世界をめぐる現状にあっては、だれもが平和教育の必要性を感じているのではないのでしょうか。しかし「今」、「ここで」必要な平和教育とは、と問われて即座に回答できる人は少ないのではないのでしょうか。そのことを日本人学校への派遣教員の言葉や実践から考えてみたいのです。刻々と状況が変化し続ける現在、日本国内の学校はもちろん、世界49ヶ国と1地域の94校を教える日本人学校でも、日本の教育課程で授業が行われています。では日本の教育課程でできること、できないことは何でしょうか。紛争地やその近隣国での生活やパンデミックでロックダウンを経験した地域の日本人学校で派遣教師は、何を考え、どのような教育実践をしたのでしょうか。また仮にもう一度同じ地域へ派遣されるとすれば、どんな実践をしたいと考えるのでしょうか。あるいは被爆地など、もともと平和教育への課題をもった地域の教師が、日本人学校に派遣されたとき、どのようなことを考え、何を実践したのだろうか。サミットで首脳は原爆に関する資料館等を実際に訪れることも想定されます。平和教育に対する日本の教育課程の可能性について考えて参ります。冒頭、杉田氏にエジプトへの日本の教育課程「特別活動」の導入の経緯や受け入れ、平和教育への貢献など、特別講演としてお話しいたします。

7.2 SUN

会場／希館

TIMETABLE

9:00	受付 (発表者は9:00より会場で動作確認等ができます。)
9:30	自由研究発表 — 各教室
12:00	休憩
13:00	特定課題研究 — 201教室
13:00	趣旨説明
13:10	第1部 プロジェクト(分科会)報告 外国語教育と国際理解教育/石森広美 他 教員養成と国際理解教育/市瀬智紀 他 地域の多文化化と国際理解教育/南雲勇多 他
14:40	質疑応答・問いの共有
15:10	第2部 グループ(分科会別)討論・シェアリング
16:00	

特定課題研究

SDGsへの意識の高まり、ウクライナ危機と平和、進展し続けるグローバル化、地域の多文化化、また初等外国語教育の教科化等、検討すべき課題が山積するなか、国際理解教育の担い手育成という課題が浮上しています。そこで、2022年度から始動し3年にわたって活動予定の研究・実践委員会では、課題のメインテーマを「グローバル化・多文化化する現況において、国際理解教育の担い手育成をどうするか」に設定しました。「国際理解教育の担い手」とは、学校教員には限らず、地域社会における多様な機関・団体、人材を含んでいます。特定課題研究として、

1. 外国語教育と国際理解教育
2. 教員養成と国際理解教育
3. 地域の多文化化と国際理解教育

以上3つのプロジェクトを進めています。

第32回研究大会では、委員で検討してきた各プロジェクトの趣旨説明及びディスカッションのための実践研究発表を、上記のタイムスケジュールで行う予定です。

※全日とも学内食堂・コンビニは閉店です。昼食をご持参ください。

PRE-EVENT
ONLINE

会員・大会参加者のみでのオンライン・プレイベント

6.29 THU 19:30~21:30

ウクライナでの「戦争」にどのように向き合うか

ウクライナでの「戦争」が始まって1年半近くが経とうとしている。

この間、本学会では「平和の文化連続トーク」や「ユネスコ・カフェ」などを通してこの問題に取り組んできたものの、学校内外での現場からは「今も起きている『戦争』について若者と一緒に考えたいのに、どう実践してよいか分からない」という声が絶えず聞こえてくる。

本プレイベントをこうした声に応答する一助としたい。



参加登録/グーグルフォーム(大会ホームページ、左QRコードより申し込み)
参加者/会員もしくは名古屋大会の参加費を支払っている非会員
参加費/無料

- 実践報告1/中許竜宏(湘南学園小学校)・住田昌治(湘南学園長)・神澤清(社会活動家)
実践報告2/和井田祐司(大阪暁光高等学校教諭)
実践報告3/畠山尚之(大阪教育大学附属高校池田校舎教諭)
コメント/工藤泰三(名古屋学院大学)・伊井直比呂(大阪公立大学)

大会に関するお問い合わせはこちらまで

kenkyutai2023@gmail.com

日本国際理解教育学会 第32回研究大会実行委員会 事務局
〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号
名古屋学院大学 外国語学部 天野研究室 気付

